

学校生活のめやす

基本的な考え

- ・皆が安心して、学習に集中できるようにする。
- ・一人一人が気持ちよく活動できることを心がける。
- ・義務教育を終え、次の学校・社会に出て行くことを見据える。

◇ 登校・下校

- ・交通ルールを守り、安全に登下校しよう。
- ・通学路を通り、左右二列までで、道に広がらないようにしよう。
- ・先生や友達、地域の方に会ったら元気よくあいさつをしよう。
- ・8時20分までに門を通り、朝の学習の準備をしよう。

◇ 学校内での生活

- ・朝に集会があるときは、少し早めに登校し、8時20分に整列して移動しよう。
- ・集会では、先生や生徒が登壇したら、きちんと礼をしよう。
- ・チャイムの1分前には自席に着こう。

- ・教室や廊下では、落ち着いて行動しよう。
- ・係生徒の指示に従い、きまりを守って生活しよう。
- ・ロッカーを使い、身の回りの整理整頓しよう。
※学校指定の手提げバッグは机の横に掛けてもよい。
- ・上ばき・下ばきの区別をつけよう。
- ・積極的に窓を開け、室内をさわやかな空気に保とう。
- ・登校後は、無断で校外に出ないようにしよう。
- ・来客や先生には、必ずあいさつをしよう。
- ・窓ガラスや清掃道具などを破損したときは、すぐに担任の先生に申し出るようにしよう。

◇ 週番活動

- ・生活・整美・広報・生徒会執行部が参加する。
(テスト日・式日・行事日は行わない)

〈活動内容〉

- ・帰りの戸締まり点検・清掃点検。
- ・週目標の周知や達成するための活動や声掛け。

◇ 学級活動

- ・日直・清掃・係活動など、各学級での役割を守って活動しよう。
- ・忘れずに皆で協力し、責任をもって行おう。

◇ 持ち物

- ・持ち物には、記名しよう。
- ・登校時は学校指定のバッグを使用しよう。
※取り間違い防止のために5cm×5cmのキーホルダーを1つ、つけてよい。
- ・ハンカチ・ティッシュを用意しよう。
- ・学習に必要なものを持ってこないようにしよう。

◇ ランチ

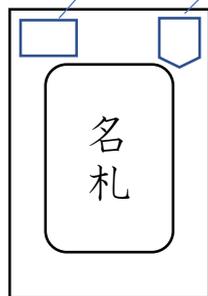
- ・ランチの予約封筒は、ランチがある日の朝8:20までに職員室前のポストに入れよう。
- ・ランチカードにチャージをして、発券機購入を希望する場合は、当日の昼休みランチルームBカウンターへ取りに行こう。
※発券機による予約は、3日前までに北校舎土間にある発券機を利用して行おう。予約時間は8:00~16:00(予約締め切り最終日は13:30まで)の毎放課。
- ・ランチルーム内では、食器を大切に扱い、食後はテーブルを拭き、いすの整頓をしよう。また、ゴミは分別して、きちんと処理しよう。
- ・ランチボックスや牛乳の運搬は係が行おう。時間内に食べ終われなかった生徒は、昼放課の時間を使って食べよう。その際のボックスの返却は各自で行おう。

◇ 身だしなみ

〈頭髪〉

- ・中学生らしいさっぱりとした髪型にしよう。
- ・前髪は目にかからない長さにしよう。
※前髪を伸ばす場合は分けたりピンで留めたりする。
- ・後ろは襟やセーラーにかかる場合は結ぼう。
- ・結び目は耳よりも下に来るようにしよう。
※結んだ髪はくくる(お団子)でもよい。
- ・ピンやゴムは黒・紺・茶(飾りなし)を使用しよう。
- ・刈り上げは、自然な刈り上げにし、頭頂部のみが残るなどの特殊な髪型にはしないようにしよう。
※パーマ・カールなど特殊な髪型やドライヤー等を使った加工、脱色・染色、整髪料の使用はしない。

〈名札〉 組章 校章



- ・名札は全員着用しよう。
- ・校章・組章は決められた位置につけよう。
※校章と組章は制服につけても良いが、名札につける位置は変えない。
- ※台布の隅をスナップでとめる。

※令和6年度入学生より、名札は一体型に変更。

〈服装（詰襟学生服）〉

※夏服・冬服の切り替えは各自で判断する。

※式日・行事日は、全校で統一する。

（夏服）

- ・上着は、白の半袖開襟シャツとする。
- ・上着のすそは、ズボンの中へ入れる。
- ・ズボンのすそはダブル・シングルともに可とする。
- ・ベルトは必ず使用する。色は、黒・紺・茶の単色とし、はとめの着いているものは使用しない。
- ・カッターシャツの下には白単色の肌着を着用する。

（冬服）

- ・黒の標準学生服とする。
- ・集会等の際は、ホックをはめる。
- ・ボタンは前5個、両袖2個の金色とする。

（昭和橋ボタン・標準ボタンともに可）

- ・上着の下には白のカッターシャツと白単色の肌着を着用する。（カッターシャツは半袖でも可）
- ・ズボンとベルトは夏服に準ずる。

（靴下）

- ・白か黒の単色（ワンポイントなし）で、くるぶしがかかる長さ～ひざ下までの長さとする。

〈服装（セーラー服）〉

※夏服・冬服の切り替えは各自で判断する。

※式日・行事日は、全校で統一する。

（夏服）

- ・上着は白の半袖セーラー服とする。
- ・えりは、紺とする。
- ・上着の丈はウェストがかくれる程度。
- ・制服の下は襟から出ないものとし、白・黒・紺・ベージュ単色の肌着を着用する。
- ・黒のリボンを必ず着用する。
- ・スカートの丈は短くともひざがかくれる長さとする。
- ・体温調整のために半袖セーラーの上に黒・紺単色のカーディガンを着用してもよい。

（冬服）

- ・上着は紺の長袖セーラー服とする。
- ・えりには白いカバーをする。
- ・上着の丈はウェストがかくれる程度。
- ・肌着・リボン・スカートは夏服に準ずる。

（靴下）

- ・白か黒の単色（ワンポイントなし）で、くるぶしがかかる長さ～ひざ下までの長さとする。

〈寒さ対策〉

(防寒具-登下校時に着用し、校内では外すもの-)

- ・黒・紺単色の学生用コートを着用してもよい。
 - ・手袋・マフラー・ネックウォーマーを着用してもよい。
- ※色の指定無し

(防寒着-制服の下に着用し、校内でも着用可能なもの-)

- ・冬服を着用する場合、詰め襟学生服の場合はカッターシャツの上に、セーラー服の場合はセーラー服の下に、無地のセーター・ベスト類を着用してもよい。色は白・黒・紺・茶・グレーの単色とし、制服からはみ出ないようにする。
- ・冬服を着用する場合、ズボンやスカートの下に黒・ベージュで無地のストッキング・タイツをはいてもよい。
- ・制服の代わりに体操服を着用する場合は、長袖長ズボンの下に上記防寒着を着用してもよい。

〈暑さ対策〉

- ・登下校時に日傘や首元を冷やすためのタオル等を使用してもよい。

☆防寒具や防寒着の着用・暑さ対策の使用は気温や体調に合わせて各自で判断する。

〈その他〉

(体操服)

- ・学校指定の体操服を使用する。
- ・左胸に、縦書きのワッペンに名前を書いて貼り付ける。
※刺繍でも可
- ・半袖のシャツのすそはズボンの中へ入れる。
- ・寒い場合はジャージ上下を着用してもよい。
- ・一年を通して制服の代わりに体操服で登校してもよい。
※体育の授業がある際は着替を用意するなど、不衛生にならないように気をつける。

(靴)

- ・靴は白を基調とした紐付きで運動に適したもの。
※ロゴや中敷きなどは何色でもよい。
- ・かかとを踏まないようにする。

(室内履き)

- ・校舎内では指定のスリッパを使用する。
- ・体育館や格技場では体育館シューズを使用する。